

## はじめに

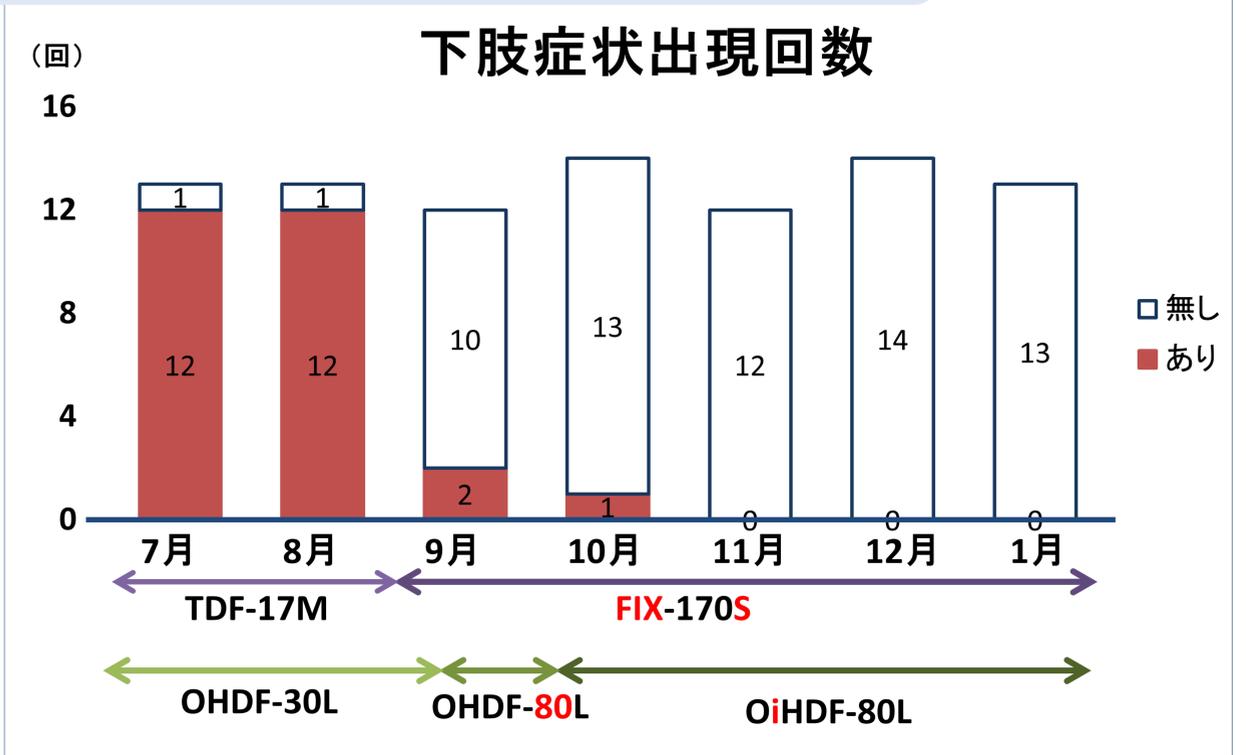
レストレスレッグス(RLS)治療においてオンラインHDFが有用との報告が散見される。上記治療を用いて症状改善を認めたい症例を報告する。

## 症例

- ・77歳男性 難聴あり
- ・原疾患DM性腎症 透析歴10年
- ・4時間透析 Dw(46.5kg H27.1.2)
- ・27年6月より当院にて透析開始、転入時より透析中下肢をバタつかせる症状が毎回あり、突然ベッド上で立ち上がる危険な行動も見られ、RLSと推定された。

## 治療条件

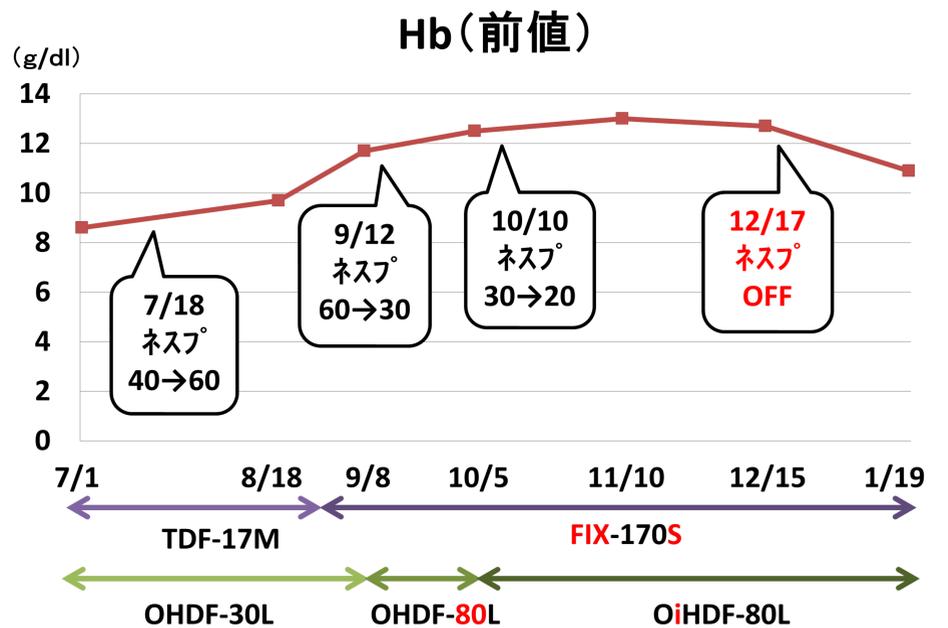
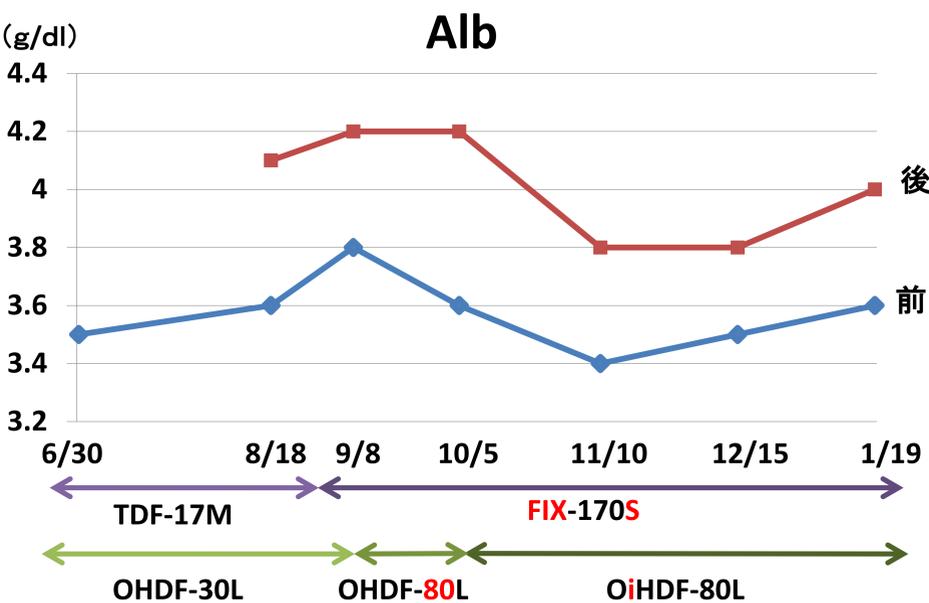
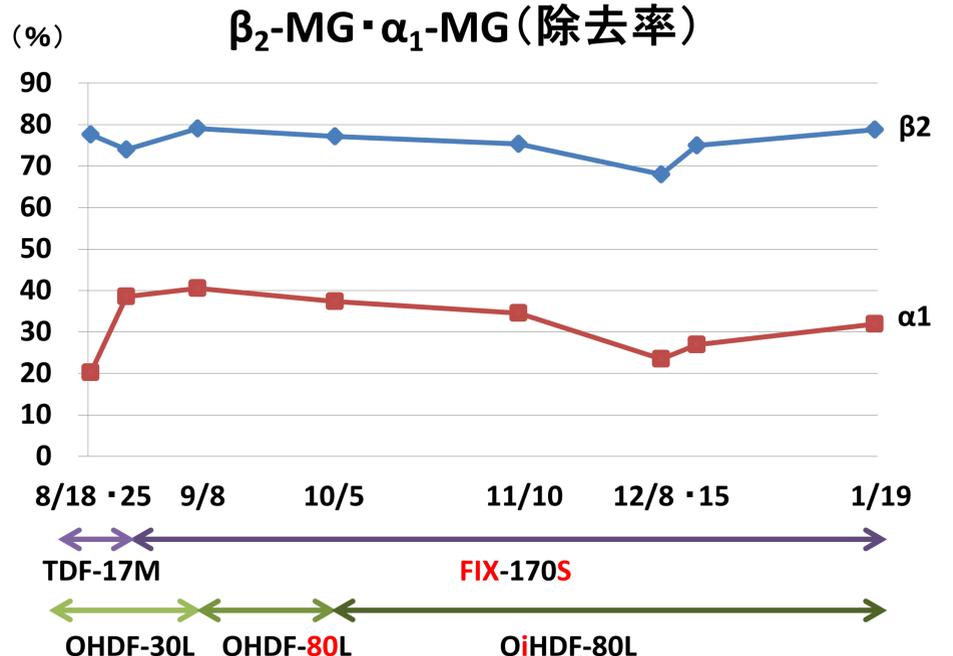
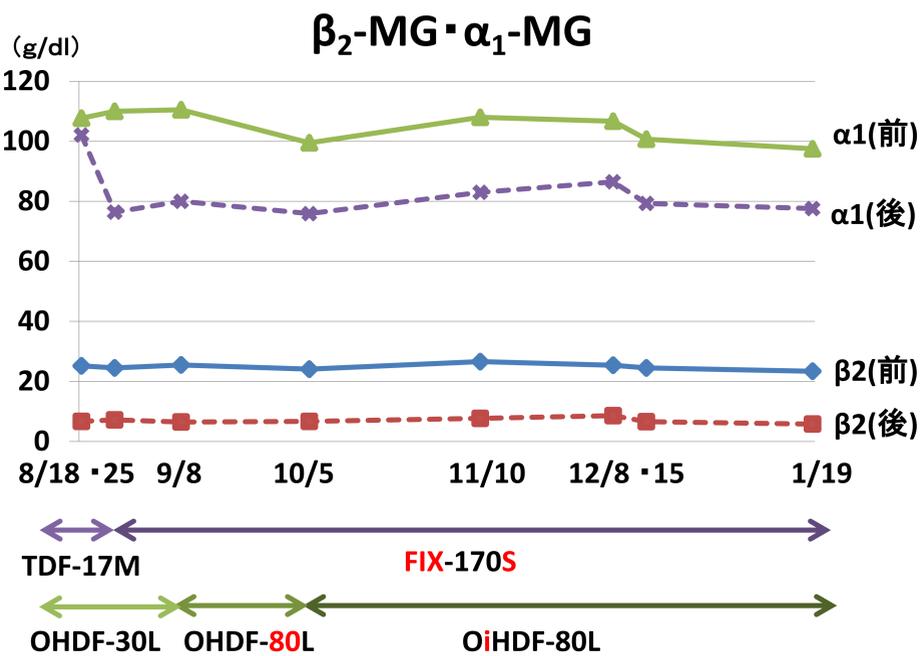
- 6/30 ~ 当院透析開始 (PN-180 HD)
- 7/9 ~ TDF17M OHDF(30L)
- 7/11 ~ ビ・シフロール内服開始
- 8/25 ~ FIX-170S OHDF(30L)
- 9/8 ~ 補液量80Lへ増量
- 10/5 ~ 間歇補液追加



## 経過

大量置換への変更月から下肢症状(バタつき)の改善がみられ、三カ月後にはほぼ消失した。透析中の訴えや危険な行動も無くなり、本人から「足良くなった」という言葉も聞かれ安全な透析が行えるようになった。

RLS症状の減少とともに貧血症改善の相関もみられた。



## 考察

- ・これまでα1-MG除去率上昇がRLS症状改善に寄与すると推察されてきたが、除去率の変動と必ずしも合致しておらず、除去率以外の要因が作用している可能性が示唆された。
- ・他の要因としての、ビ・シフロールに関しては前施設でも否定的な判断がなされており、今回のRLS症状改善に作用したとは考えにくい。

## 結語

RLS症状の改善に大量置換オンラインHDFが効果を示す一例を経験した。